

「幕山地域を考える研究」発表

 福山市立福山高校 ×  福山市立大学

高大連携事業とは・・・

高校と大学が連携して行う教育活動のことで、高大連携により、高校生の大学における学習に対する目的意識や将来に対する意識の向上を図ろうとするものです。また、大学生にとっても「テクニカルスキル(事業遂行能力)」「ヒューマンスキル(対人関係能力)」「コンセプチュアルスキル(概念化能力)」を身につける貴重な機会でもあります。

福山市立福山高校と福山市立大学による高大連携事業は、2017年度に引き続き、2年目となります。

今年度のテーマは・・・

東部地域郊外団地のまちづくり～幕山台地区を事例に～

幕山台地区は1980年代に開発された住宅地(ニュータウン)であり、同世代の世帯が同時期に入居したことから、高齢化が一気に進行すると予想されていることを踏まえて、高齢化によって発生する課題を発見・整理し、対策を考えることに取り組んでいます。これまでに、学区のまちづくり推進委員会や自治会の方々などのご協力をいただき、幕山台地区

に関するレクチャーや現地視察、視察結果を踏まえたグループワークなどを行ってきており、今日は、その成果の一部について発表します。



大学教員が少子高齢化社会における新市街地(ニュータウン)の状況や課題に関する講義を行いました



地域住民の方々に幕山台地区の概要等をご紹介いただきました



現地視察でも地域住民の方々に説明をいただきました



講義や現地視察を受けて感じたことをグループワークで出しました

今後の予定は・・・

今回の「幕山地域を考える研究」の最終発表会を、下記のとおり福山市立大学の大学祭(港輝祭)にて行います。是非、大学にも足をお運びいただき、生徒・学生たちの研究成果をお聴きいただけますと幸いです。

2018高大連携事業・最終発表会

日時：2018年11月17日(土) 11:00～12:00

場所：福山市立大学(港町キャンパス)

研究棟 1階中講義室A

※ 発表会は大学祭の発表プログラムの一環で実施します



2017年度発表会